

第二章 デバイスのファクトリー・リセット

ファクトリー・リセットとは、XTM を工場出荷時の既定の設定に戻す手段です。リセットして起動すると XTM は「セーフモード」というモードで動作します。リセット後にはデバイスの 1 番ポートと結線し、セットアップウィザードを実行できます。

リセット後のデフォルト設定は次のとおりです。

External(0 番ポート)の IP アドレス	DHCP
Trusted(1 番ポート)の IP アドレス	10.0.1.1

この章では、まず、初期セットアップの際の結線方法について解説します。

次いで機種ごとのファクトリー・リセット方法を解説します。

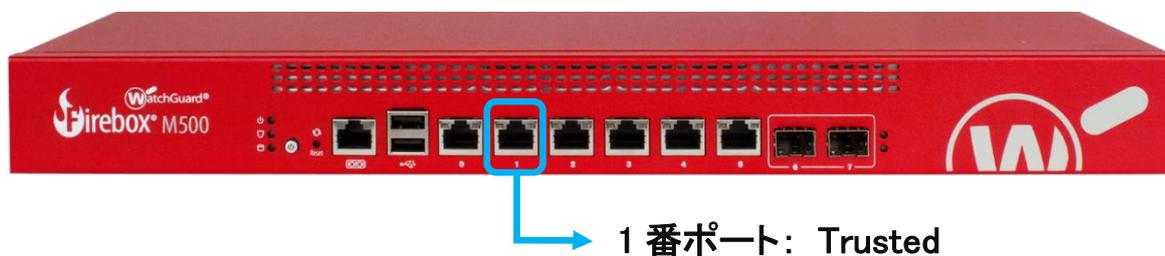
結線

まずは機器のシリーズごとの 1 番ポートの位置を示します。どのモデルも 1 番ポートがデフォルトで Trusted(信頼済みネットワーク)となりますので、PC とデバイスの 1 番ポートを LAN ケーブルで接続しておきます。

Firebox M440



Firebox M シリーズ



Firebox T シリーズ, XTM2/3 シリーズ



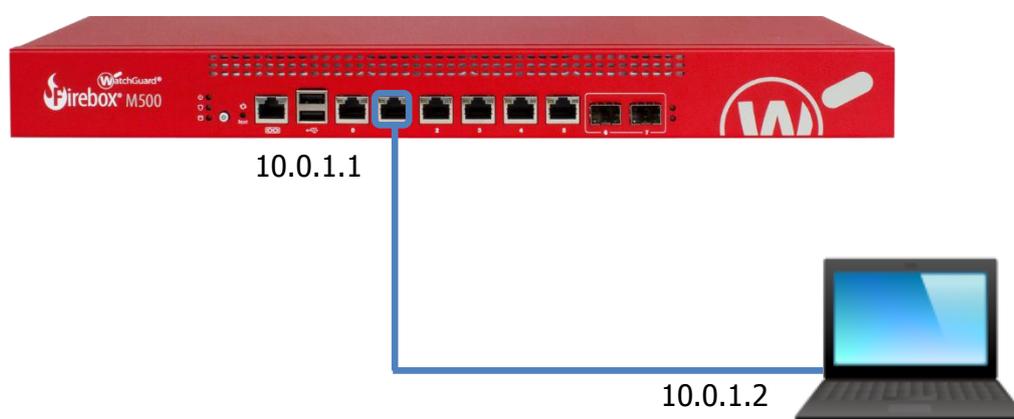
XTM XTM330/5/8/10/20 シリーズ



設定する PC 側の設定は Trusted のネットワークに合わせ、以下のように固定 IP アドレスを設定しておいでください。

IP アドレス	10.0.1.2
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	10.0.1.1

PC とデバイスの 1 番ポートを接続します。



リセット後、PC 側から 10.0.1.1 に ping コマンドを実行して疎通を確認できれば、初期セットアップの準備は完了です。



ping コマンドで応答があっても起動中の場合もありますので、初期セットアップは ping の疎通を確認できた後、1~2 分経ってから行ってください。

リセット手順は機種によって違いがあります。

次にシリーズごとのリセット方法を解説します。

各機種のリセット方法

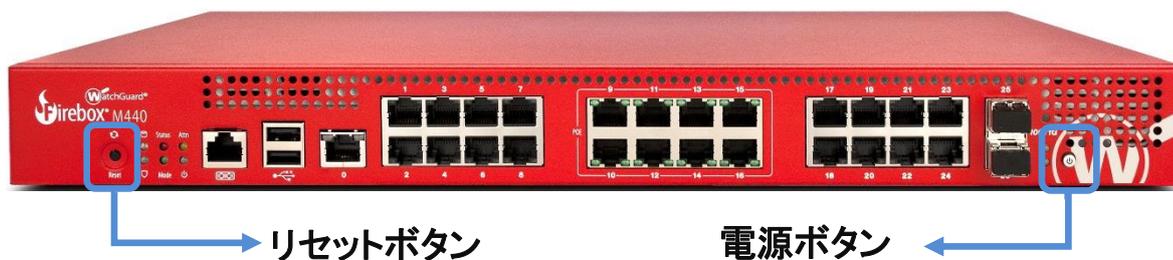
Firebox M440 のリセット

1. 本体背面の電源スイッチを入れ、電源を投入します



2. デバイス前面の電源ボタンを 3 秒間長押しして、一旦電源を切ります
3. デバイス前面のリセットボタンを押した状態で、電源ボタンを短く押して電源を入れます

M440 の電源ボタンとリセットボタンの位置



4. リセットボタンを押し続け、Attn インジケータが点滅しはじめたら手を離します



5. Attn インジケータが点滅から点灯に変わるまで待ちます
Attn インジケータが点灯になったらリセットされたことを意味します

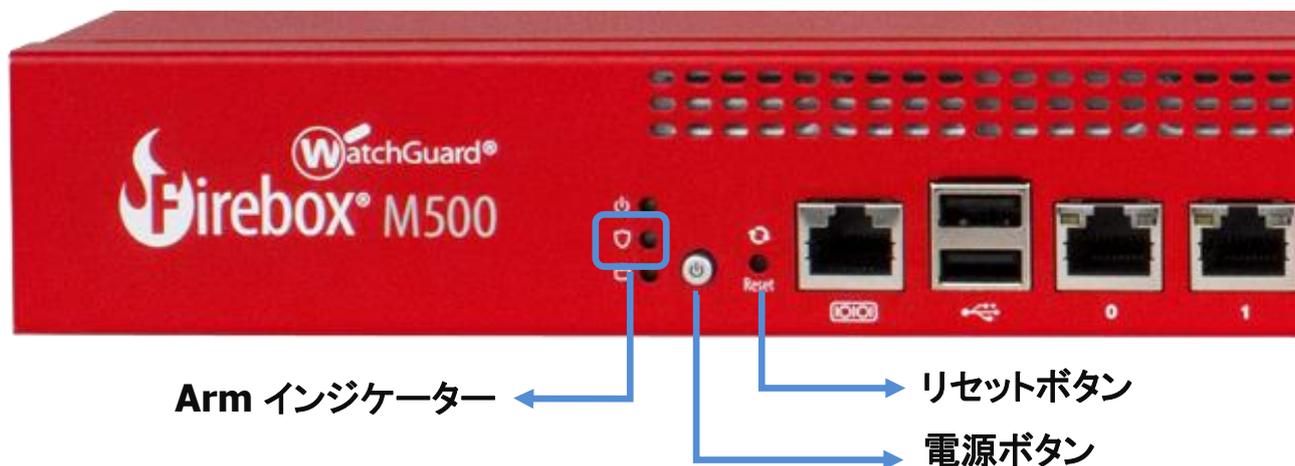
Firebox M400/500 のリセット

1. 本体背面の電源スイッチを入れ、電源を投入します



2. デバイス前面の電源ボタンを3秒間長押しして、一旦電源を切ります
3. デバイス前面のリセットボタンを押した状態で、電源ボタンを短く押して電源を入れます

M440 の電源ボタンとリセットボタンの位置

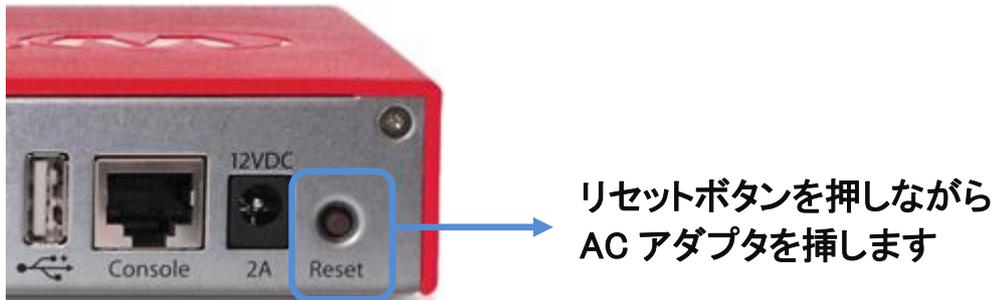


4. Arm インジケータが赤い間、リセットボタンを押し続けます
5. Arm インジケータがゆっくり緑色に点滅している間も押し続けます
6. 緑色の点滅が早くなったら手を離し、点滅が赤になるまで待ちます
Arm インジケータが赤の点滅になったらリセットされたことを意味します。

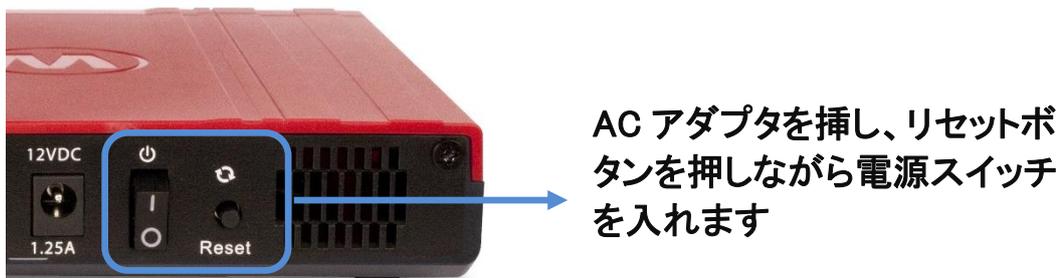
XTM2/3 シリーズおよび Firebox T シリーズのリセット

1. 電源を投入します。

XTM2/3 シリーズでは機器の背面、右端の Reset ボタンを押しながら、AC アダプタの電源を挿します。Reset ボタンは起動中、ずっと押したままにします。



Firebox T シリーズは電源スイッチがあるので、AC アダプタを挿し、Reset ボタンを押しながら電源スイッチを入れます。



2. Attn インジケータが点滅し始めたらリセットボタンから手を離します。



点滅は 30 秒から 60 秒続きます(デバイスによっては点滅しないものもあります)。

3. Attn インジケータが点滅しない場合は、点灯するまでリセットボタンを押し続けます。

点灯したらリセットボタンを離します。

4. Web Setup Wizard で設定する場合は再起動が必要なので、電源を入れ直します(これらのシリーズのみ再起動が必要です)

XTM330/5/8/10/20 シリーズのリセット

1. 電源の投入

フロントパネル 右方、液晶パネルの下に上下左右の矢印ボタンがあります。この中の下向き▼のボタンを押しながら、背面の電源スイッチを ON にします。



▶ ▼ ボタンを押しながら

背面の電源を投入



2. フロントパネルの LCD ディスプレイに Safe Mode Starting... と表示されて 5 秒ほどしたら離します

```
Safe Mode  
Starting...
```

しばらくすると社名が表示されます。

```
WatchGuard  
Technologies
```

3. 以下のように Safe と表示がされたらセーフモードで起動したことを意味します。

```
Up 0 day 00:00 Safe  
Cfg 3 day 19:37
```

```
XTM 330 Safe  
Load 0.68 0.75 0.3
```

4. Web Setup Wizard で設定する場合は再起動が必要なので、背面の電源スイッチを長押しして一旦電源を切り、再度電源を入れ直します